

平成25年度当初予算概要

平成24年度からスタートした新基本計画の大きな政策目標、「“ 未来 ” を担う子どもたちに誇れるまちに向けて」の実現に向け、事業の必要性、緊急性、重要性を見極めながら、真に市民のためになる事業の選択を行った上での予算編成に努めてまいりました。

1. 一般会計予算規模

歳入歳出予算の総額：174億8,313万3千円

前年度の平成24年度当初予算比較

24億4,182万8千円の増、率で16.2%の大幅増

ただし、この大幅な伸びの理由は、平成24年度当初予算では、みらい平地区に建設予定の小学校及びコミュニティセンターの用地取得費に係る費用を平成23年度補正予算へ前倒ししたため、この用地取得分を含めた実質の平成24年度当初予算は、166億1,677万4千円となり、この場合で対比すると、8億6,635万9千円の増、率で5.2%の伸びとなる。

2. 主な歳入

(1) 市税：66億7,001万2千円

前年度比3億5,114万4千円の増、増加率で5.6%の伸び

主な増額の内訳

個人市民税 1億6,624万3千円の増額

法人市民税 1億4,244万9千円の増額

(2) 地方交付税：24億5,000万円

国の平成25年度地方財政計画などから試算。

前年度比1億5,000万円の減額。

(3) その他の歳入

- ・国庫支出金は25億6,120万2千円
前年度比7億5,123万7千円の増額
- ・市債は26億3,690万円
前年度比12億5,770万円の増額
その他の歳入については、みらい平地区の小学校やコミュニティセンターの建設、また、合併特例債での道路整備事業が本格化することなどから、事業費が増額となるとともに、財源も増額となっている。

3. 主な歳出

(1) 子育て環境の充実

子育て環境の充実に係るための事業

- ・小絹小児童クラブ整備事業 8,000万6千円 継続
小絹小学校敷地内に児童クラブを建設し、規模を拡大する。
小絹第1クラブ(60名)、小絹第2クラブ(30名)から、
小絹第1クラブ(40名)、小絹第2クラブ(40名)、小絹第3クラブ(40名)
とし、定員を30人増加させる。
- ・児童館整備事業 888万1千円 新規
ふれあいセンターから小絹児童クラブの移転に伴い、今までの児童クラブのスペースをつくばみらい市で初めての児童館に改修する。
- ・(仮称)みらい平地区コミュニティセンター整備事業
2億4,882万3千円 工事着工、継続費
みらい平地区の市民交流の拠点となるコミュニティセンターを整備する。
(児童館、子育て支援室、図書館分館併設)
- ・保育所運営委託事業 2億7,949万1千円 継続増

みらい平地区に今年4月に開所する「あい保育園富士見ヶ丘」新設により
1億2,840万円増額となる。

(2) 教育環境の充実

教育環境の充実に係る事業

- ・(仮称)陽光台小学校建設事業 8億2,234万3千円 工事着工継続費
みらい平地区の児童数の増加に伴い、小学校を新設する。
- ・小中一貫教育事業 1,053万6千円 継続増
平成24年度まで試験的に進めていた小中一環教育を平成25年度から、市内の全小・中学校で実施する。
- ・TT非常勤講師設置事業 1,898万8千円 継続増
子どもたちの学力向上、きめ細やかな学習指導等を図るため、市内全小学校(10校)にTT非常勤講師を配置する。
- ・中学校パソコン更新事業 1,037万3千円 継続
ICT教育を推進するため、市内中学校の授業用のパソコンをハイブリットタイプに更新し、これまでの「パソコンの学習」から「パソコンを使った学習」に教育内容を充実させる。
- ・学校図書館司書配置事業 322万4千円 新規
市内の中学校区に対し、各1名(計4名)の学校図書館司書を配置し、学校図書館の充実を図るとともに、子どもの読書活動の推進を図る。

(3) 新基本計画に基づく事業の実施

行きたくなる、住みたくなるまちをつくろう

人や企業を引きつける都市としての魅力、優位性を確立していくための施策

- ・スマートインターチェンジ設置事業 888万4千円 継続増

常磐自動車道への連結許可を受けるための協議を進める。

- ・まちづくり整備推進事業 730万3千円 新規

スマートインターチェンジ整備後の波及効果をより得るため、市内の土地利用、特に福岡地区の工業専用区域の拡大やワープステーション江戸周辺地域など、開発を効果的に進めるための手法の検討を行う。

- ・特産品づくり推進事業 127万円 新規

市のブランド化を推進するため、市の農産物の知名度アップや販路の拡大、併せて、協議会を組織し、市の農産物を活かした加工品などの特産品づくりを行う。

- ・つくばみらい市4Hクラブ助成事業 7万円 新規

将来の市の農業を支える若手農業経営者へ支援を行うため、「つくばみらい市4Hクラブ」に対し、補助金を交付する。

- ・人・農地プラン事業 5,600万円 継続

平成24年度に策定した「人・農地プラン」に基づき、将来の市の農業を支える青年就農者等に対し経営支援を行っていく。

- ・友好都市記念事業 10万円 新規

コミュニティ活動として、今年1月に締結しました友好都市「埼玉県伊奈町」との交流事業を、市民を交えた委員会を組織し積極的に進める。

- ・嫁に來ないか事業 62万9千円 継続

平成24年度に委嘱した結婚相談員を含めた相談体制の充実を図るとともに、出会いの場となるイベントを引き続き開催し、事業を実施する。

- ・伊奈・谷和原丘陵部まちづくり推進事業 535万円 継続増

平成24年度で伊奈・谷和原丘陵部一体型土地区画整理事業が終了することから、茨城県で行う完了記念式典の開催に併せ、「(仮称)みらい祭り」を行う。

大人も子どもも高齢者もうれしい、誰もが便利に感じるまちをつくらう

子どもから高齢者まで、誰もが暮らしやすい環境の充実を図るための施策

- ・地域公共交通運行事業費 2,968万円

継続(コミバス)・新規(デマンド)

平成26年度から、コミュニティバスに加え、デマンド交通システムを追加するための導入準備を行う。

- ・「歩道のない道路は道路でない」事業 600万円 継続

「歩道のない道路は道路でない」事業を計画的に進めるため、平成24年度から2ヵ年で進めている「歩道整備計画」策定の最終年度となる。

- ・合併特例債道路整備事業 継続増

合併特例債で進められている道路事業を引き続き推進する。

(仮)豊体横町下宿線整備事業 5,111万2千円

平成25年度事業完了予定

東櫛戸台線整備事業 7億7,867万9千円

地区幹線3号線整備事業(伊奈東~小張) 2億3,782万4千円

都市幹線2号線整備事業(南太田~神生) 1億9,068万1千円

市道1 - 3号線整備事業（山王新田～神住新田）5,010万6千円

市道2 - 3号線整備事業（足高～神生）1億1,310万8千円

子どもから高齢者まで希望の持てる、みんなを大切にしたいまちをつくろう

子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち、希望の持てるよう投資をかかさないうちにするための施策

- ・地域福祉計画策定事業費 391万5千円 継続増

年々多様化する福祉ニーズに対応するため、福祉の総合計画となる「地域福祉計画」を策定する。

- ・身体障害者手帳交付事業 2,257万円 新規

県からの権限委譲により、平成26年度から市で身体障害者手帳を交付することになることから、その準備経費を計上した。市民サービスの向上につながる。

- ・救急医療情報キット配布事業 68万3千円 新規

高齢者が万が一の緊急事態に備え、安心した生活が送れるよう、65歳以上のひとり暮らしの高齢者等に対し、医療情報を迅速に伝えるための「救急医療情報キット」を配布する。

- ・国民健康保険加入者の特定検診自己負担金の無料化 30万円 新規

受診予定者3,100人中、300人（40,45,50,55,60歳の節目）に対し、疾病の早期発見、生活習慣病予防及び受診率の向上等を図るため、特定検診自己負担金の無料化を図る。

- ・がん対策事業 5,087万4千円 継続増

大腸がん、肝炎ウイルス検査の受診機会を増やすため、集団検診に加え、新

たに施設（個別）検診を導入するとともに，がん検診無料クーポン券事業の普及促進を進め，受診者を増やし，がん対策事業の充実を図る。

- ・ ころの体温計システムの導入 19万1千円 新規

早期に自身のころの疲れや不調に気づくよう，インターネット，携帯電話を利用して，ストレスや落ち込み度を確認できる「ころの体温計」を導入する。

- ・ 総合運動公園野球場改修事業 7,141万1千円 新規

利用者が快適に利用出来るよう，総合運動公園の野球場を改修する。

- ・ 古川テニスコート改修事業 2,520万円 新規

利用者が快適に利用出来るよう，古川テニスコートを改修する。

ハード・ソフト両方が安心な持続可能なまちをつくろう

市民との信頼関係を高め，行政全体として，将来にわたって持続可能な質の高い自治体を目指すための施策

- ・ 空き家対策事業 24万円 新規

近年問題化している「空き家」問題に対し，市民を交えた委員会を設置し，今後の市の対応の方向性を検討する。

- ・ 防犯対策事業 4,928万2千円 継続

防犯（街路）灯の適正な管理を図るとともに，防犯（街路）灯のLED化を積極的に推進する。

- ・ 消防団ポンプ車両更新事業 1,664万円 継続

市民の安全を確保するため，計画的に消防団ポンプ車両更新する。（第9分団）

- ・交通安全対策事業 938万2千円 継続
交通安全の啓蒙や対策，カーブミラーや注意看板の設置，「スクールゾーン」などの路面警戒標示の整備を行う。
- ・放射能対策事業 2,905万1千円 継続
平成24年度に引き続き，民地の除染や給食食材の検査を行う。
- ・市町村再生可能エネルギー導入促進事業 3,502万3千円 新規
自然再生エネルギーの導入の促進，緊急時の電力を確保するため，谷和原保健福祉センターへ太陽光発電及び蓄電池を設置する。
- ・板橋小学校自転車通学区域児童通学バス運行業務委託 693万円 新規
歩道などの安全施設の整備状況を踏まえ，子どもたちの通学における安全確保を第一に考え，板橋小学校の自転車通学区域の児童に対し，平成25年度の時限的措置として，通学バスを運行する
- ・谷和原中学校耐震・大規模改修事業 3億8,625万円 工事着工
市内の小・中学校の耐震化を計画的に進めるため，今年度は谷和原中学校の耐震，大規模改修工事を行う。
- ・公園長寿命化計画策定事業 1,474万円 新規
都市公園について，施設の老朽化に対する安全性の確保及びライフサイクルコストの縮減を図るため，「公園長寿命化計画」を策定する。
- ・行財政改革の推進
市民サービスの向上を第一に，「民間にできるものは民間に委ねる」ことを基本に，市の事業に対する民間活力の導入を積極的かつ計画的に推進する。